感 染 防 止 衣 仕 様 書

京都市消防局警防部救急課
担当 山本、川勝（075-212-6704）

1　目的

この仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が購入する救急隊員等の感染防止衣について、必要な事項を定めるものとする。

2　条件

この感染防止衣は、十分に品質管理を行った材料及び付属品を用いた仕上がりが優良な製品であること。

3　製品の欠陥等

納入後であっても、生地、サイズ及び仕立ての縫製上の欠陥によるときは、受注者の責任において無償で交換することとし、これらにかかる費用は受注者側が負担すること。

4　製品名

納入する製品は、感染防止衣上衣及び感染防止衣下衣とし、以下の製品から１つを選択すること。

⑴　エイブル山内製の救急隊員上衣ＭＡＸＧＡＲＤ２７６５−ＪＳ（ジャンパータイプ）及び救急隊員ズボンＭＡＸＧＡＲＤ２７７５

⑵　日本メディカルプロダクツ製のＨＳ５７（ジャンパータイプ）及びＨＴ０１

⑶　アイテックス製の救急隊感染防止衣上衣オールシーズン（ジャンパータイプ）及び救急隊感染防止衣下衣オールシーズン

5　縫製

⑴　各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとすること。

⑵　縫い代は、各部分に適した十分なものとすること。

⑶　糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりが目立たないものとする。

⑷　縫い始め、縫い終わりの箇所（本縫い部分）は返し縫いをすること。

6　形状及び寸法

⑴　感染防止衣（上衣）は、長袖（筒袖型）、スタンドカラーマジックテープ付き、フロントファスナーのジャンパータイプとし、左胸及び左右脇にポケットを、左袖にペン挿しを取り付けること。（別図１参照）

⑵　感染防止衣（下衣）は、右脇部分にマジックテープ付きで、止めコイルファスナーであること。（別図２参照）

⑶　上衣の袖口及び裾、下衣の裾口及びウエストは、ゴムを入れて伸縮性をもたせること。

⑷　上衣の袖口及び下衣の裾口のゴムは、露出しないように生地で覆われていること。

⑸　上衣の反射テープは、上衣の背部、両袖、左胸ポケット雨蓋及び左右脇ポケット、計６か所に取り付けること。テープ色は銀色、テープ幅は３．０～５．０ｃｍ（±１ｃｍ）とし、取付け位置は別図１のとおりとする。

⑹　寸法は次のとおりとする。

ア　感染防止衣（上衣）　形状は別図１のとおり

（単位ｃｍ）

記号	サイズ別寸法	LL	L	M	S	許容誤差
A	着丈	73	69	66	65	±5%
B	肩幅	53	51	49	48	
C	胸囲	132	126	120	114	
D	袖丈	65.5	64.5	60.5	59	

イ　感染防止衣（下衣）　形状は別図２のとおり

（単位ｃｍ）

記号	サイズ別寸法	LL	L	M	S	許容誤差
A	胴囲	78～108	72～102	66～96	58～88	±5%
B	腰囲	135	125	118	112	
C	股下	87	85	82	78	

7　消防局名表示

⑴　消防局名表示については、「京都市消防局」（丸ゴシック体）及び「KYOTO　CITY　FIRE DEPT.」（丸ゴシック体）の文字を、左胸部及び背部（別図１参照）にプリントすること。

⑵　印刷用のインク色は、紺色とすること。

⑶　印刷用のインクは、再帰反射インクとすること。

⑷　契約後、京都市消防局警防部救急課と消防局名表示についての詳細を打ち合わせること。

8　包装

⑴　１着ごとにポリプロピレンの袋に収納すること。

⑵　同サイズの５０着又は１００着を１個の収納箱に収納すること。

9　必要数量

下表のとおりとする。

品目	サイズ	数量
感染防止衣（上衣）	ＬＬ	３，０００
	Ｌ	４，０００
	Ｍ	１，０００
	Ｓ	３００
	計	８，３００

品目	サイズ	数量
感染防止衣（下衣）	ＬＬ	５００
	Ｌ	１，６００
	Ｍ	５００
	Ｓ	１００
	計	２，７００

10　納入場所

京都市南区西九条菅田町４番地　旧救急教育訓練センター

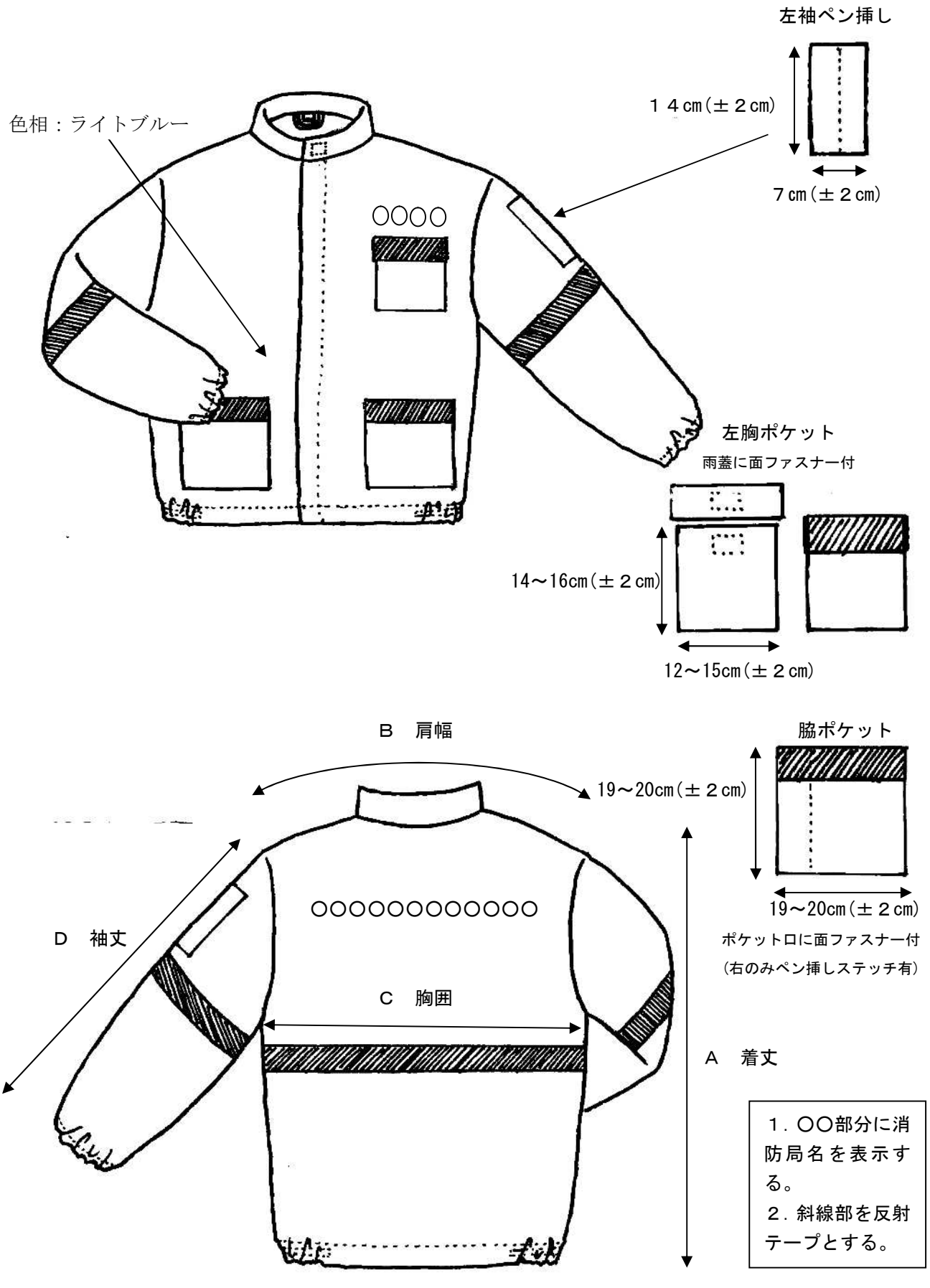
11　納入期限

令和９年３月１９日（金）

12　その他

その他の詳細にあっては、契約後に京都市消防局救急課と協議の上決定すること。

別図１　感染防止衣（上衣）の形状及び寸法



１．〇〇部分に消防局名を表示する。
２．斜線部を反射テープとする。

別図２　感染防止衣（下衣）の形状及び寸法

